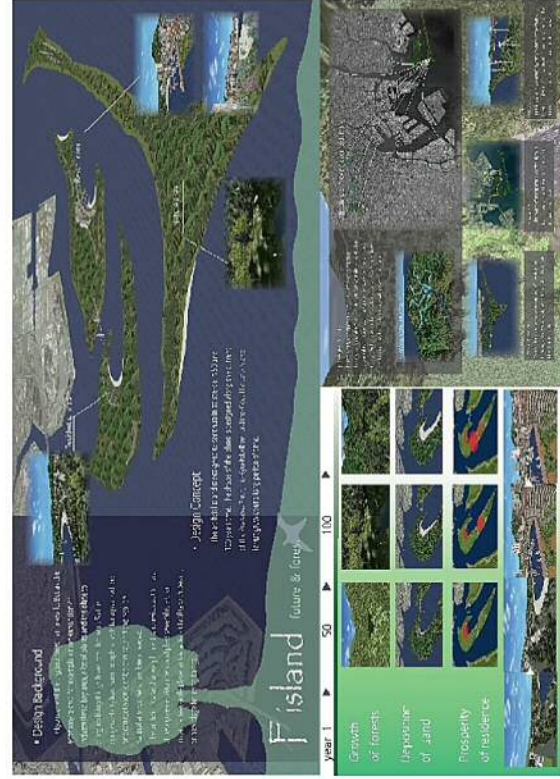




受賞者全員での記念写真



優秀賞 JT&SO 「Fisland」

Virtual Reality (通称VR) 仮想空間体験なるコンピュータグラフィックスの国際学生コンペティションが開催された。第2回となる今年のテーマは、“Sustainable Design of Marine City”。今だからこそあえて、津波・災害を克服して新たな居住可能性を海上に求め、安全・快適かつサステナブルに水辺に住まう「海上都市」への取り組みが課題となりました。応募作品は、東京、神戸・大阪、福岡の3種類の敷地から選定して計画提案がされています。今回は世界8か国36チームよりエントリーがありました。予選考で9作品がノミネートされ、最優秀賞、優秀賞2点および審査員特別賞5点が選定されました。日本大学理工学部土木工学科構造・デザイン研究室は、3年生と4年生が混合した3チーム10名で応募し、その結果、優秀賞、審査員特別賞2点を受賞すること

## 昨年に続きVirtual Design World Cup 3作品入賞

ができました。表彰式の会場には、日本大学土木工学科の名前が鳴り響きました。参加者は、建築、造園、情報など多岐に亘る分野からの応募でした。

### ○優秀賞

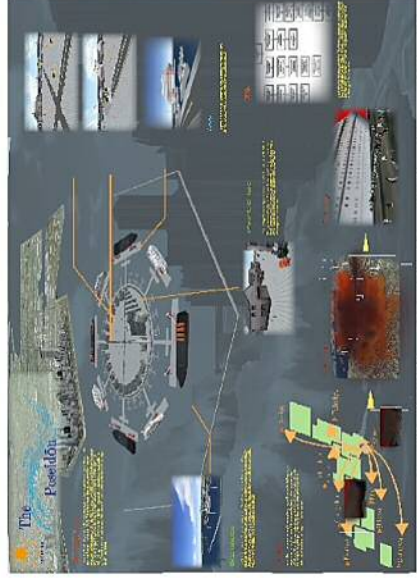
- JT&SO 「Fisland」
- 4年 笠井広和 3年 松浦亜裕美
- 3年 遠藤大輝 3年 山田真弘
- 3年 林 佑弥

### ○アーヒボリス賞

- SF-JNT2 「The Poseidon」
- 4年 菅野仁博 4年 丹羽弘毅

### ○シビルデザイン賞

- TOKU-16th 「JUGEMU」
- 4年 福田悠馬 3年 門倉重貴
- 3年 張 加順



アーヒボリス賞 SF-JNT2 「The Poseidon」



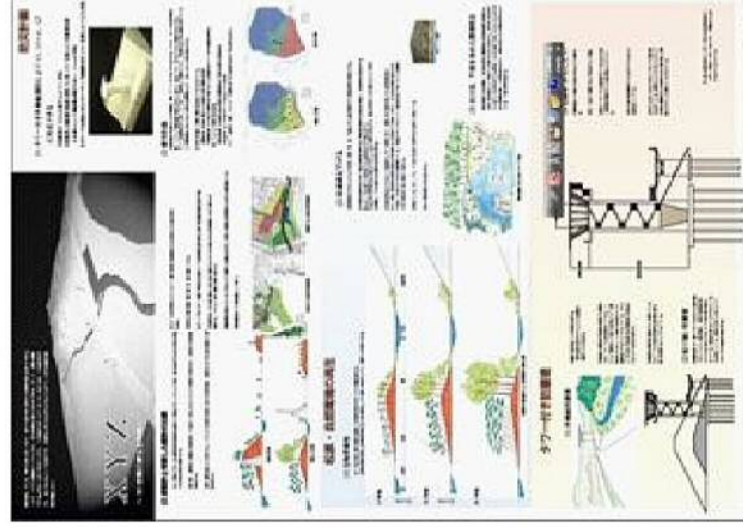
シビルデザイン賞 TOKU-16th 「JUGEMU」



景観開花9・快拳初参戦初入賞

## 特別協賛企業賞受賞

景観開花は、景観デザインを志す建築、土木、造園の学生、若年社会人を対象として開催されるコンペティションで、東北大学で開催される。今年で第9回となるテーマは、「未来へつなぐ防潮堤デザイン」。防潮堤は、台風などによる高潮や津波などの自然被害から、人と「まち」を守り、一方で、防潮堤は、「まち」を取り囲み、人と海を遮断させてしまう可能性があります。



タイトル「XYZ～3D空間の更なる利用～」



製作された模型 (避難タワーと堤防)

そこで、「まち」の安全と「まち」と海の関係性を両立させる可能性を探る防潮堤のデザインがテーマとなりました。提出数23作品の中から、最優秀賞1作品、優秀賞1作品、佳作3作品、特別協賛企業賞4作品が選ばれ、構造・デザイン研究室は、特別協賛企業賞(東京コンサルタント賞)を受賞しました。

既存の復興計画と防災計画に対して「都市計画」、「自然環境」、「タワー付き堤防」という3つを、提案の柱として、海辺に住み続けたい人でも、安心して生活できる為の都市計画を含めた防潮堤を提案しました。

- 参加者：3年 前田滝作 3年 嶋田剛士
- 3年 竹田知樹 3年 千葉深広



製作された模型 (避難タワーと堤防)

## 高槻市北東地区まちづくり完成

関先生が設計、設計監理する高槻市JR高槻駅北東地区土地区画整理事業が2012年4月完成を迎えました。その詳細は、日経コンストラクション7.14号, LANDSCAPE12月号に掲載されています。

2009年7月から行われたこの事業は、組合一括代行業務方式による都市の再開発事業で、約2年半の短期間で、



ハーバード大学コスタスタス准教授の質問に...

9.3haに道路、公園、デッキなどの公共施設が整備された。設計には、土木設計家 関文夫 (日本大学)、ランドスケープアーキテクト高橋靖一郎 (株)LPD)、建築家 新堀大祐(株)設計領域)、照明設計家 横田みち子(株) and,Light)、構造技術者 笠原勝人 (中央復建コンサルタンツ(株)) が関与する。土木設計家が、まちづくりに直接参加したので、公共施設関係の設計のあり方論まで含めて関心が高いプロジェクトです。



ヘダストリアンデッキ (Designed by F.SEKI)



公園のデザイン (Designed by F.SEKI)